

礼拝プログラム ※注の導きにより変わる事があります

- 黙祷 詩篇 46:1-3..... 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 13番
- *交読文 13番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 9番
- 礼拝のための祈り 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 388番
- メッセージ 再建を邪魔する者への対処方法(ネヘミヤ4章)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 178番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈祷課題

- ・この教会が天の声、すなわち御言葉なるキリストに聞き従い、御心を行う教会であるように
- ・兄弟姉妹達が御言葉をたくわえ、昼も夜も口ずさみ、出るにも入るにも祝福されるように
- ・主を愛し、御言葉に忠実な、御霊に満ちた働き人、70名が与えられるように
- ・病、貧しさ、悲しみ、捕われの内にある兄弟姉妹のいやし、慰め、解放のために
- ・終末の災い(戦争、地震、飢饉など)に実際に直面している世界の兄弟姉妹達のために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

神は____の避け所また力である。悩める時のいと近き助けである。このゆえに、たとい地は変り、山は海の真中に移るとも、____は恐れない。たといその水は鳴りとどろき、あわだつとも、そのさわぎによって山は震え動くとも、____は恐れない。一つの川がある。その流れは神の都を喜ばせ、いと高き者の聖なるすまいを喜ばせる。神がその中におられるので、____はゆるがない。神は朝はやく、____を助けられる。・・・万軍の主は____と共におられる、ヤコブの神は____の避け所である。来て、主のみわざを見よ、主は驚くべきことを地に行われた。主は地のはてまでも戦いをやめさせ、弓を折り、やりを断ち、戦車を火で焼かれる。「静まって、わたしこそ神であることを知れ。わたしはもろもろの国民のうちにあがめられ、全地にあがめられる」。万軍の主は____と共におられる、ヤコブの神は____の避け所である。(詩篇 46 篇)

今年に入り、天声教会設立当初にビジョンとして与えられたハガイ書から礼拝の再建について学んでおり、礼拝が再建された後は、ガードするための城壁の再建すべき事を、ネヘミヤ記から学んでいる。ネヘミヤ達は、わずか52日で城壁を完成させたが、きょう、今年が始まって52日目である。私達の再建はどれ程進んでいるだろう。一日二日で終わらせられないような事でも、やってみれば意外とすぐに終わるのに、山積みの問題を見ると、やる気を失わせられてしまう。エルサレムはそうして何十年も防護壁が崩れ放題、きつねが入りし放題だったが、私達は主にあつて建て直しを進めるなら、すぐ建て直される。今回のネヘミヤ4章を見ると、再建のわざは、何の妨げもなくとんとん拍子に進むわけではない事が分かる。人がより健やかに、より主に向き合うようになる事を、歯ぎしりして嫌がる敵、すなわちサタンがいるからだ。サタンに同意する人もまた、人が健全になるのを邪魔する事には、エネルギーを惜しまないものだ。礼拝の再建、人生の再建をしようと思いついた時、それを邪魔する者が現れる事は、しっかり想定しておき、それが現れた時には、いかに対処すべきかを、このネヘミヤ4章から学びたい。

『サンバラテはわれわれが城壁を築くのを聞いて怒り、大いに憤ってユダヤ人をあざけた。・・・「この弱々しいユダヤ人は何をしているのか。自分で再興しようとするのか。犠牲をささげようとするのか。』(1-2) 彼らはちょうど、人が働く気を起こし行動し出した所の気持ちをくじく。私達も、自分の崩れてしまった人生や性格を建て直そうとする時、礼拝を再建しようと働き出す時、敵は非常に憤慨してあざけり、1日ではとても片付けられないような、瓦礫のような有様にフォーカスさせて、やる気を失せさせたり(2節)、あるいは、せつかく頑張っても、たった一匹のきつねが来ただけで、何もかも台無しにされてしまうかのように思わせ(3節)、働かなくても良いという「なまけ心」を巧妙に引き起こさせる。敵の気落ちさせる口撃が来た時、ネヘミヤは祈って主に直訴した(4-5節)。私達も敵の攻撃の第一陣、すなわち、言葉で失意させる矢が飛んできたなら、それは自分で受けずに、そのまま主を持って行って訴え祈るたしなみを身につけたなら、それで城壁は半分まで修復したも同然だ(6節)。

そうして再建が進んで行くと、敵はさらに怒りを燃やして、邪魔しに来る(8-9節)。そればかりでなく、身内からもマイナス感情に囚われて「できない」という言葉をかけてくる(10節)。私達も、健やかになる事や人生が建て直される事、礼拝が再建される事で「できない」という言葉が発せられる時、我に返るべきだ。そのような時、ネヘミヤは家族ごとにそれぞれ武器を持たせて言う。「あなたがたは彼らを恐れてはならない。大いなる恐るべき主を覚え、あなたがたの兄弟、むすこ、娘、妻および家のために戦いなさい。」(14) 神の家の再建は、自分だけの戦いでなく、兄弟姉妹と共同の戦いである。御言葉の剣を握りしめ、恐れている心の人を助け合い、支えあって、将来のため、息子、娘たちのために戦うのだ。私達の側が共に力をあわせて、徹底抗戦する様を敵が見る時、敵は、そのたくらみを止めるのだ。(15節)

敵が妨害を止めたからと言って、ガードを解いてはならない。ネヘミヤ達はその日以来、半分の人は工事につかせ、半分は武装させ、片手で工事し片手に武器を執った(16-17節)。また、角笛を吹く人、すなわち、常に見張って、もしもの時には警告を吹き鳴らす人を置いた。(18節) そのように、敵が退けられたと見える時でも、城壁が完成するまではガードを解いてはならない。ネヘミヤ達が城壁の破れの大きい所に、武装した人を配置させたように、私達も、自分の中で、攻め込まれ易い弱い所がある事は、正直に認め、そこが建て直されるまでは、いつでも角笛を吹き鳴らして助けを求められる体制を、兄弟姉妹の間で整えるのだ。これを続けていくなら、立て直しはもっと進んでいく。私達も、御言葉の剣を常に帯びて仕事をする気概が大事である。武器を片手に、道具を片手に工事をするなら、仕事がかどらないと思うかもしれないが、逆である。敵は、私達が剣を帯びている様を見るなら、攻撃を仕掛けられないもので、敵に邪魔される事なく、嘲られず、かえって仕事がかどるのだ。私達も、御言葉の剣をいつも口から手放さず、昼も夜もそれを口ずさむなら、水路の傍に植わった木のように、何をしても栄えるのだ。気落ちさせようとする敵に決して屈せず、御言葉によって互いに建て上げ合い、再建を進めて行く皆さんでありますように！ イエス様のお名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube